

回文の
かるた

first message from ISOS

は

は

る
は



*回文=上から読んでも下から読んでも同音の文章。



は

春は・・・

春はあけぼの。やうやうしろくなり行く、社長の頭はすこしあかりて、「ISOキックオフ」の声ほそくたなびきたる。

夏はよる。マニュアル作成の頃はさらなり。夜中もなほ、議論の声飛びちがひたる。また、ただひとりふたりなど、ほのかに舟を漕ぎたるもをかし。そのまま社に泊まるもをかし。

秋は夕暮。夕日のさして退社時間いとしこうなりたるに、内部監査の最後の現場に行くとして、みつよつ、ふたつみつなど不適合わき出るさまあはれなり。まして、指摘にて現場社員に囲まれし、声いとしひさくなるはいとをかし。日入りはてて、社長の「おい、このままで大丈夫だろうな」など、はたいふべきにあらず。

冬はつとめて。審査員をホテルまで迎えに行くはいふべきにもあらず、サービスを尽くせども、審査のいと厳しきに、コンサルタントなどいそぎおこして、綱渡りするもいとつきづきし。サーベイランスになりて、審査ぬるくゆるびもていけば、緊張の火もしろき灰がちになりてわろし。